

平成23年度 大好評!「わが家のすこやか日記」

県教育委員会では、「おかやま教育の日」関連事業として、平成21年度から家庭のほのぼのとしたエピソードを募集しています。平成23年度は、子どもから高齢者の方々まで、1,133作品の応募があり、下記の10作品が優秀作品に選ばれました。

だっこでくものうえにいるで賞 **だいすき「パパのだっこねんね」**

パパは、ぼくがねむれないときはいつもだっこをしてそとおさんぽしてくれます。ぼくは、くものうえにいるようなきもちになってすぐ寝てしまいます。「いいかげんにあまやかすのやめられえ。」「あかちゃんじゃねえんじやけん。おかしいがん。」とママは、パパをおこります。

けど、パパはかかれながらしてくれます。「パパ、すうとだっこねんねしてね。」
第二さくら保育園 さくら組(年長) 善木 玲偉 さん

かわいいギャングにメロメロ賞 **ちびっこギャングがやって来た**

ぼくの妹は、赤ちゃんの時、ぼくがだっこすると、あつたかくととても気持ちよかった。にっこり笑うとかわいかった。最初にしゃべった言葉は、「けん」と…ぼくの名前だ。

今は三才。あつというまに、ちびっこギャングになった。何でもさわるし、大事な物でもこわす。そして、ぼくの後ろについて来て、マネばかりする。ぼくが、学校から帰って来ると、「宿題やった?」と聞く。まるでちびっこ母さんだ。でも「上手にできてすごいね。」と言う。ぼくは、ちょっとうれしい。妹が笑うと、父さんも母さんもぼくも笑う。だからうれしい。

岡山市立竜之口小学校 第五学年 原 健人 さん

ルールのおかげで賞 **家のルール**

私の家では、家事を当番制にしています。当番制にしているのは、お風呂そうじ、しよき洗い、せんたくものなどです。お風呂そうじなどは当番制にしているけど、せんたくものだけはちがいます。私の家では、一番さいごにお風呂に入った人が、せんたくものをほしたり、たたんだりします。このルールになってからはみんな早くお風呂に入ります。このルールのおかげで、お母さんもちょっとは早く寝れるようになりました。だからこれからもつづけていきたいです。

岡山市立吉備中学校 第一学年 浦島 綾乃 さん

優しい三人のお母さん賞 **三人のお母さん**

私のお母さんは、四人兄妹です。私のお母さんは、三年前に亡くなりました。家事をやったり、大変なことも沢山あります。「今日学校でこんなことがあってね。」と話すこともできなくなりました。

でも、伯父さんや叔母さんが実の娘のように接してくれます。「何かあったら遠慮なく頼りゃええ。子供は大人に甘えときゃええんよ。」と言ってくれます。店員さんに「お母さん、娘さんとお買い物ですか?」と言われたら「うちの娘、かわいいでしょ。」と言ってくれました。周りの人に話す時も「うちの子が…」と話しているようです。私には、優しい三人のお母さんがいます。

〔補足説明〕
お母さんの兄妹は、兄、母、妹、妹です。三人のお母さんとは、伯父さんと叔母さん達のことで、伯父さんは男ですが、「母親のような存在」「母親代わり」という意味のお母さんです。

岡山県立岡山南高等学校 第三学年 平田 薫 さん

感謝のファンレター賞 **自分のファンからファンレター**

私の生活は陸上中心。試合が近いとピリピリしたり、食事について文句を言ったりする。試合は毎回欠かさず、お父さんもお母さんも見に来てくれ、私が自分の走りを見直せるように、すべてのレースをビデオに残してくれる。

優勝した時や自己ベストが出た時、大学生と決勝で競えた時など、嬉しい時はいつもほめてくれ、お祝いしてくれた。なのに、少しでも自分の走りについて指摘されるとすぐ怒ってしまう…。

ある大切な試合で、私はレース途中でけがをしてしまった。見に来てくれてた両親にたくさん迷惑をかけてしまった。次の日の試合で手渡された弁当の中に一通の手紙が入っていた。両親と妹から、私の頑張りや試合応援の楽しさなど、私に対して感謝の気持ちが書かれてあった。支えてくれている家族に感謝するのは私の方なのに…。涙が止まらなかった。「いつまでも香織のファンより」初めてのファンレターだった!

私が夢中になる陸上に、たくさんふりまわされていたはずの両親。なのに、「親として楽しませてもらった」「香織の陸上は思い出となった」など、私に伝えてくれた。改めて支えてくれている人に感謝ができた。最初で最後のファンレター。私の宝物となりました。

岡山県立岡山南高等学校 第三学年 青木 香織 さん

おならで笑顔になるで賞 **おならで笑顔**

わたしの家では、おならをしたら、かならず「しつれいしました。」と言うやくそくになっています。おならをかまんすると、体によくないので、がまんしないことになっています。わたしの家族は、お父さん、お母さん、四才の弟と三月月の妹とわたしの五人です。中でも、お父さんのおならがとく大です。でも、「しつれいしました。」のひと言でみんなにっこり。そして、家族にくわったばかりの妹、まだまだ小さな赤ちゃんだけど、お父さんに負けにくいくらい大きなおならをします。まだ、「しつれいしました。」と言えないけれど、家族中がみんな笑顔になります。

〔補足説明〕
だけどお母さんのおならはあまりきいたことがありません。

矢掛町立矢掛小学校 第三学年 室 萌花 さん

家族でおしゃべり大好き賞 **家族の団らん!**

私の家族は、お父さん、お母さん、弟、妹、私の五人です。お父さんも、お母さんも、仕事をしているので、いつも帰るのがおそくなります。でも、ゆいいつ、私が楽しみなのは、金曜日に家族でご飯を食べたあと、お茶を飲みながら、今週あった事を話し合うことです。学校から帰っても、だれもいなくて、毎日「さみしいなー。」と思うけど、この時だけは、家族みんないっしょにすごせる時間なので、私は大好きです。

岡山市立竜之口小学校 第五学年 行正 衣里 さん

ありがとうが伝わったで賞 **言えた**

私はいつの間にか父と話ができなくなった。恥ずかしくて「おかえり」や「ありがとう」という些細なことも言えなくなった。恥ずかしいというか怖かったからかも。

最近、父が優しくなった。いきなりお守りとかくれた。接点が無くなりつつある私は嬉しかった。ある雨の日、学校への送り迎えをしてくれた。とても珍しくて、嬉しかった。

そして、ついに言えた。「ありがとう。」と。何年ぶりだろう。その進歩が嬉しかった。

岡山県立井原高等学校 第二学年 花岡 夕貴 さん

お父さん格好良かったで賞 **ちょっと格好良かったお父さん**

私のお父さんは、無愛想で、気分屋で、口下手で、怒ると怖いです。でも、そんなお父さんが、一人で私の高校の入学式に来てくれました。クラスの全員が女子の科です。保護者もお母さんばかりです。

それでも、なぜか私の入学式に来てくれました。ビックリしたけど、スーツで堂々と教室の後ろに立つお父さんは、ちょっと格好良かったです。

私は、男と女の双子で、入学式の日がかぶっていました。当然、お母さんが私の入学式へ、お父さんが弟の入学式へ行くと思っていた。お母さんの中に一人、恥ずかしかったと思います。それでも私の晴れ舞台を見に来てくれたことが、少し恥ずかしかったけどうれしかったです。



岡山県立岡山南高等学校 第三学年 角野 はるか さん

子ども叱るな来た道じゃ賞 **子ども叱るな来た道じゃ!**

母が亡くなりタンスを整理していると、小四当時の作文が出てきた!小二の息子に見せると、「とーさん、字いきたねー。読めんがぁー。四年のじやろ。」

「…。」
日頃「字がきたない。えんびつちゃんと持って、ていねいに。」と、叱るとーさんの面目丸つぶれ。息子の大好きだったばあーちゃんの声が聞こえてくるようです。「子ども叱るな来た道じゃ。年寄り嫌うな行く道じゃ。」母の口ぐせでした。

岡山市 田中 達哉 さん

平成23年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター」県教育長賞・優秀賞作品

県教育委員会では、6月の第1月曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、「いじめ防止ポスター」の募集を行っています。次の作品は、平成23年度に応募のあった作品のうち、県教育長賞及び優秀賞を受賞された作品です。

※学年は平成23年度のものです。

県教育長賞



倉敷市立東陽中学校2年 黒木 結生



〈ポスターに込めた思い〉

いじめを見つけても、見て見ぬふりをする人がいるかも知れません。みんなで見て見ぬふりをするのではなく、「やめようよ」と一人ひとりが声をかけられるようになることが大切だと思います。

優秀賞



倉敷市立乙島小学校2年 藤原 りこ



赤磐市立磐梨小学校4年 大橋 颯



倉敷市立中洲小学校5年 出原 明日佳



玉野市立鉾立小学校6年 池内 佑衣



倉敷市立倉敷第一中学校1年 浅川 美乃



笠岡市立金浦中学校3年 瀬戸 晴美



真庭市立北房中学校3年 平 雅人



岡山県立玉野光南高等学校1年 鴨生 奈々